

▶▶ 第5回 がんと代謝研究会・若手の会

— 2023年 4月26日（水）～ 4月27日（木）

— 金沢大学がん進展制御研究所



ご挨拶

がんと代謝研究会・若手の会は、がん・代謝などの研究に従事する若手研究者が主体的に会の運営を行い、若手研究者同士の研究発表を通じた交流・情報交換の場を提供するとともに、当該分野の研究を推進する次世代の研究者の育成を目的とします。

がんと代謝研究会・若手の会 発起人一同

目次

ご挨拶	1
目次	2
開催概要	3
発表者の皆様へ	4
発表プログラム	5
会則	12
備考	13

第5回 がんと代謝研究会・若手の会 開催概要

【会の趣旨】

自身の研究を発展させていきたい若手研究者が一堂に会して、それぞれの研究推進のために発表及び意見交換の場を提供する

【期日】

2023年4月26日（水）～4月27日（木）

【場所】

金沢大学がん進展制御研究所

【参加資格】

がん・代謝の研究を行っている若手研究者（年齢・役職の制限なし）

【参加費用】

無料

発表者の皆様へ

発表時間は、「**13分**」です。

折角の若手の会ですので、**途中質問可**でリラックスして議論できる場にしたいと思います。発表者の方は、持ち時間を柔軟にご活用ください（自己紹介など大歓迎です）。

接続は HDMI です。USB C-HDMI 変換ケーブルをご用意しておりますが、その他の形式を必要な方はご自身でご用意ください。また、PC 接続は各自でお願い致します。試写をご希望の方は休憩時間にお知らせ下さい。

発表プログラム

4月26日（水）

13:00 ～ 13:05	開会の挨拶
13:05 ～ 14:25	セッション1
14:25 ～ 14:30	休憩
14:30 ～ 15:50	セッション2
15:50 ～ 16:00	休憩
16:00 ～ 17:05	セッション3
17:05 ～ 17:10	休憩
17:10 ～ 18:15	セッション4

4月27日（水）

10:00 ～ 11:05	セッション1
11:05 ～ 11:10	休憩
11:10 ～ 12:00	セッション2
12:00 ～ 12:15	投票
12:15 ～ 12:30	表彰・閉会の挨拶

4月26日

セッション1

座長 河野 晋 (金沢大学がん進展制御研究所)

Talk 1

椎葉 一心 (学習院大学)

オルガネラコンタクトの新たな役割と機能

Talk 2

明果瑠 いるま (東京理科大学生命医科学研究所)

細胞競合を制御するオートファジー小胞の機能解析

Talk 3

笠原 敦子 (金沢大学がん進展制御研究所)

MFN2-RAB35 によるミトコンドリアと小胞体の接点形成制御について

Talk 4

杉浦 歩 (順天堂大学)

ペルオキシソーム代謝における細胞機能制御

Talk 5

中原 龍一 (東京大学先端科学技術研究センター)

低酸素はゴルジ体分解を介し腫瘍内の骨髄由来細胞の SREBP2 を活性化
する

セッション2

座長 大澤 毅 (東京大学先端科学技術研究センター)

Talk 6

大川 眞裕香 (産業技術総合研究所・横浜市立大学)

膵臓がんにおける RNA 修飾変化とその機能解明

Talk 7

張 園園 (金沢大学がん進展制御研究所)

PDAC resists to CDK inhibition therapy through cellular senescence depending on EGFR signaling.

Talk 8

龔 麟祥 (金沢大学がん進展制御研究所)

RB loss induces quiescent state in MCF10A cells through RAS inactivation

Talk 9

WANG YUMING (金沢大学がん進展制御研究所)

MTHFD2 promotes breast cancer tumorigenesis and progression by maintaining the stemness and regulating tumor-associated macrophage polarization.

Talk 10

昆 俊亮 (東京理科大学)

Wnt シグナルの活性化は細胞競合を介して、がん細胞のびまん性浸潤を促進する

セッション3

座長 昆 俊亮 (東京理科大学)

Talk 11

田畑 祥 (国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点)
大腸がんにおけるオンコメタボライト・2-ヒドロキシグルタル酸の役割

Talk 12

立花 雅史 (大阪大学大学院薬学研究科)
パルミチン酸による骨髄細胞の免疫抑制機能獲得阻害機構の解明

Talk 13

有馬 勇一郎 (熊本大学)
ケトン体代謝のもつ多面的作用

Talk 14

大澤 毅 (東京大学先端科学技術研究センター)
ニュートリオミクスから迫るがん悪性化機構の解明

セッション4

座長 木戸屋 浩康（福井大学学術研究院医学系部門
血管統御学分野）

Talk 15

小関 準 （名古屋大学）
アミノ酸変異による抗ウイルス薬の薬剤耐性要因解析

Talk 16

楠山 譲二 （東京医科歯科大学）
ビタミンDによる運動情報の次世代伝播機構

Talk 17

木戸屋 浩康（福井大学学術研究院医学系部門血管統御学分野）
生体内イメージング解析に基づくシン・腫瘍血管モデルの提唱

Talk 18

島村 徹平 （東京医科歯科大学・名古屋大学）
深層学習による細胞ダイナミクスの新次元俯瞰

4月27日

セッション1

座長 井上 大地 (神戸医療産業都市推進機構)

Talk 1

大坂 夏木 (東京工業大学)

ROS による GTP エネルギー合成制御機構の解析

Talk 2

鈴木 結香子 (慶應義塾大学先端生命科学研究所)

乳がん細胞において HSPB1 は LLGL2-SLC7A5 複合体形成を制御する

Talk 3

井上 大地 (神戸医療産業都市推進機構)

TP53 変異白血病における未知の病態解析と治療応用

Talk 4

今野 雅允 (産業技術総合研究所)

RNA 代謝を用いたがん診断技術の開発

セッション2

座長 杉浦 歩 (順天堂大学)

Talk5

安藝 翔 (東京大学先端科学技術研究センター)

PPI を介したミトコンドリアダイナミクスの新機構

Talk6

前田 啓介 (東京大学先端科学技術研究センター)

低 pH 微小環境における代謝変動とミトコンドリアダイナミクス

Talk7

富樫 庸介 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)

腫瘍微小環境におけるミトコンドリア異常の検討

がんと代謝研究会・若手の会 会則

【目的】

がんと代謝研究会・若手の会はがん・代謝などの研究に従事する若手研究者が主体的に会の運営を行い、若手研究者同士の研究発表を通じた交流・情報交換の場を提供するとともに、当該分野の研究を推進する次世代の研究者の育成を目的とする。

【会則】

- ・独立した研究室を主催しないもの本人が若手と思うものを「若手」とする。
- ・若手の会は基本的には口頭発表し、参加者全員の投票で優秀演題を決定する。
- ・若手の会での優秀演題は、本会での口頭発表の機会が与えられる。
- ・若手の会は年 1 回程度開催する。
- ・若手の会に参加する本会の実行委員やオブザーバーは若手研究者のサポートを行う。

がんと代謝研究会・若手の会 発起人一同

備考

本若手の会に関する問い合わせ先

金沢大学 がん進展制御研究所

石川県金沢市角間町

河野 晋 まで

TEL : 076-264-6751

e-mail : skohno@staff.kanazawa-u.ac.jp